

世界で通用する質の高い英語・コミュニケーション力を目指すー

テーマ： 超高度なリスニング力を目指すーニュアンス・背景までしっかり理解して飛躍！

ー「神は細部に宿る」を体現するリスニング意識の強化と「徹底的な実践練習」

K/Hシステム 上級フェロシップ・プログラムは、K/Hシステムの中級コースまでの4コース以上、または6か月以上の長期企業内研修を修了した方が、更に英語力と英語コミュニケーション力を向上させるための特別サポートプログラムです。4か月(月1回/計4回)の集中コースで、今年度(第17期)は12月12日(日)からスタート。K/Hシステム最高峰のプログラムです。年に1回のみでの開講です。上級視点を土台にし、聞き取りからスピーキングまでステップ・バイ・ステップで力を付けていきたい方は是非ご参加ください。昨年に引き続き、今年も全日程、オンラインでの開講です。

今回のキーワードは「*God is in the details* -神は細部に宿る」です！

高い英語力を持っていたとしても、本当に隅々の詳細まで掴むような聞き取り力にはまだ一歩足りないところがあるのではないのでしょうか。ここにopportunityがあると考えて、今回は、「神は細部に宿る」をテーマに、細部まで意識するリスニング力強化に取り組むことで、英語・コミュニケーション力全体の強化を狙います。中級リスニングコースの「四角い部屋を四角く掃く」リスニングプログラムよりもさらにステップアップし、それにスピーキング力強化も併せたプログラムにする予定です。もちろん、「ついていけるだろうか？」と、不安な方々もいらっしゃるでしょう。でも、大丈夫です！公開講座・フェロシップで扱った教材テキスト(忘れていたかもしれませんが)を使った、少し馴染みのある英語のリスニング練習からスタートし、徐々に新規テキストにステップアップしていきますので、ご安心ください。

「神は細部に宿る」を意識したリスニング力強化の狙いとは？

- (1) **超高度なリスニング力を身につける** ー公開講座4コース受講やフェロシップ継続受講の皆さんは、概要は外さずに掴むリスニング力は持っていますが、ニュアンスまで含めて細部まで正確に聞き取れる力となると、まだまだこれからののではないのでしょうか。このコースで言う「超高度なリスニング」とは、隅々の細かいニュアンスまでも拾うことを意味します。たとえば、長い文を「構文を正確に追いながら」正確に理解できたとしても、その中で、「話者の使った論理展開の意図」、「語句の微妙なニュアンス」、「語句の背景とその文脈上の意味」、「素早く発音された単語群の聞き取り」、「その文脈における冠詞、単数・複数形、主語の選択、仮定法、時制などのニュアンス」なども同時に理解していく必要があります。このようなレベルで皆さんのリスニング力を鍛えること、これが一つ目の狙いです。
- (2) **リスニングを学ぶことでスピーキング力を伸ばす** ー最近5年間のフェロシップコースは、スピーキング力強化中心でしたが、それでも、「文法が正確で、中間項を意識した論理構造を使い、ニュアンスまで正確で自然な英語で話す」という点では、まだ発展途上かもしれません。これからは、いい英語のリスニング練習をし、講師からその英語の徹底的な解説を受け、それを真に理解することが英語力全体の強化に重要になってくると考えました。つまり、今までは見過ごしていた微妙なニュアンス、理解のための背景知識、スピーカーがある意図をもって工夫している論理展開、細かい文法(冠詞、時制・仮定法、主語の選び方、等)なども正確に理解するという事です。これが、皆さんの今後の正確無比なスピーキング力への強化にもつながると考えています。
- (3) **英語の新しい発見と感動も得られる** ー良質のスピーカーの英語のリスニングを「神は細部に宿る」レベルまで突き詰めていくと、今まで見過ごしていた英語の中に、新しい発見と感動が沢山あるはずですよ。やり切って卒業したつもりの英語教材の中にも、見過ごしていた大事なものが含まれています。分かっている、知っていると思っていた英語にも、実は大いに有益なものが含まれていたという事に驚き、その驚きが学習のエネルギーになるでしょう。その尽きないエネルギーによって、さらに深く英語と異文化コミュニケーションを学ぶ力と視点を養成し、今まで気づけなかった面白さに気づいてもらいたいと思っています。本コースでは、そのために英語のニュアンス、背景などの解説を詳しく行い、皆さんに新しい発見と感動をもたらす、「英語は面白い！」という継続学習のモチベーションを持って帰って頂きたいと思っています。

【学習内容の概要】

- ① **リスニング力の現状把握と、個人目標およびその優先順位の設定** ーまずは、過去20年以上のK/H公開講座でも扱ったテキスト群と新しい英語テキストを使って、リスニング力の現状把握を行います。自分の立ち位置を見極め、そのレベルから個人個人が目標の優先順位を定め、毎回の聞き取り練習でテーマを決めてステップアップできる工夫をします。
 0. 「そもそも意味が分からない単語/イディオムはどれ？」ーわかっているようで、案外知らない単語・表現などあるかもしれません
 1. 「音として掴めない単語・表現はどれ？」ー早く話された時に音が弱くなる部分を見ていきます
 2. 「どのぐらい長いと意味が覚えていられなくなる？」ー大抵、意味のかたまりが3ブロック以上になると覚えられないようです

3. 「どんな構文だと構造が分からなくなる？」—これはいろいろありますが、まずは「1001構文」からチェック
4. 「語句自体のニュアンスと文脈上でのその正確な意味が理解できている？」—これは講師の解説なしには分かりにくい部分
5. 「話者の論理展開の工夫と意図を理解できている？」—「木」ではなく「森」を分析的に見る大局観とその習慣がまず大切
6. 「話者の意図とその背景を理解している？」—これも講師の説明によって気づけることが多い部分
7. 「『結＋詳＋詳』の感覚で英語を聞いている？」—当たり前なようで、知らぬ間に日本語の意味順で理解しようとしているかも
8. 「英語のユーモアが分かる？」—背景知識・語彙と文脈を追う力、映像的なイメージを湧かせる力などが求められます
9. 「その他、過去のK/Hシステムで学んできたこと」—過去学んできたことを復習・整理・発展させることで「固めていく」

② **リスニング実践練習** —上記の10の視点で、リスニングの徹底した実践練習をします。ビジネス関係のものであっても、専門的なものよりも、ビジネスコミュニケーション等どなたにも役立つものを多く入れます。また、一つの目玉として、ジョーク(品の悪くないもの)の聞き取り練習にほぼ丸一日割き、様々なタイプのジョークの聞き取りを、徹底してやってみたいと思っています。その中で、ユーモア感覚が、絆づくりにおいてSmall talkと同じくらい重視されている欧米の文化背景なども学びます。講師の持つニュアンス理解の知識を、できる限りシェアします。講師の英語の理解の仕方(頭の中)を、できる限りオープンにお見せしますので、それを利用し、皆さんはご自身の英語理解の感覚を深めてください。

③ **リスニング強化練習の王様、ノートテーキング力の強化** —リスニング練習では、常に、K/Hシステム式、ロジカル・ノートテーキングの見本を見せます。ロジカルな構造でイメージ・シンボルを使って簡潔にメモが書けるスキルを身に付けてください。もちろん、その前提として1文ずつを聞き取れなくてはなりません。とはいえ、1文ごとには理解できても、次の文が来るとすぐに忘れてしまうことも多いので、それを防ぐために論理展開とその展開の意図を掴みながら、立体的にメモを作る方法を学びます。同時に、英語をメッセージとして瞬時に掴む訓練にもなります。メモで使う便利な印・シンボル・記号などを20種類ぐらい覚えておくと、ノートテーキングのスピードが倍近く上がります。

④ **正確無比なスピーキング力強化への道** —リスニング練習を通じて、スピーキング力の強化にもつなげます。また、「つなげるぞ！」という皆さんの学習意識も強化します。聞き取り練習のやり方を工夫して、スピーキング力の質的改善につなげます。多くの皆さんのスピーキングの課題は、単語の組み合わせ方、文脈における語彙選択の不自然さ、裏返せば、正確に覚えて使える「自然な表現」が少なすぎることです。その結果、英語が不自然に響き、ちょっと「格好悪い英語」にもなりえます。また、正確な文法で英文を話せず、不自然で間違った英語になり、伝えたい意味やニュアンスを誤解されてしまうこともありえます。文法的ミスが続くと、時には「教育レベル」まで疑われてしまうことさえもありません。

その課題解決のための方法は、まず、質の高いスピーカーの英語を、徹底的なリスニング練習から始めて学ぶことでしょう。具体的には、その英語テキストの分析と講師の解説を通じて、「自然な英語表現」の意識を高めることと、細かい文法の醸し出すニュアンスを理解しておくことです。文法が違えば、意味やニュアンスがどう変わるかをしっかりと理解し、自然にニュアンスの正しい、正確な文法で話せる力を強化することです。このような方法で、このコースではスピーキング力強化をすることも視野に入れていきます。

【クラスの進め方】

オンラインクラスの特徴を最大限に活かします。質の高い英語と内容の音源・テキストを用意し、リスニング実践練習を行います。

リスニング・ルーティン1—メモを取りながら英文を聞き、次に、その意味を日本語で言います。その回答について、講師がコメントし、どこに理解不足や誤解があるかを見つけてます。同時に、講師のノートテーキングのメモを見せながら、上記の10項目に従って、その英語の聞き取り方、表現のニュアンスや背景説明まで詳しく解説していきます。

リスニング・ルーティン2—皆さんがメモをとりながら1~2分程度の英文を聴き、メモを元に日本語で意味をすべて書きます。その後で、英文を見ながら答え合わせをして、自分の課題や改善した点などを自己評価するものです。その際、講師からの英語の意味と聞き取り方の詳しい解説も入れます。毎セッションごと、数回入れる予定です。

リスニング力練習をスピーキング力に転換するため、主に以下の練習ルーティンを行います。

スピーキング・ルーティン1—パラグラフの聞き取りをし、意味を英語で言います。それを録音したものを、自分で聞いてオリジナルの英語と比較し、現在のスピーキング力の課題を見つけます。その後で、講師がその英語のニュアンス・背景知識を含めた詳細な解説をして、理解を深めます。

スピーキング・ルーティン2—指定されたウェブサイトで、実戦的な英語スピーチ・プレゼンのサマリーを事前に聞き、クラスでは、それに関して小グループで英語で発表・評価し合います。その後で、講師がその実戦的英語のニュアンス・背景知識を含めた詳細な解説をして、理解を深めます。

オンラインであっても、対面クラスのように、小グループでの作業やグループ内でチームビルディングができるような工夫をします。もちろん、いつものグループ対戦も組み入れます。最終日は、今までのような、何かの形でこのコースで学んだことを中心にした成果の個別・グループ別発表会などを設け、いつものように受講者相互の切磋琢磨しながらの学びを促進します。

□ 追加で、Day0 を開催 * 昨年とほぼ同じ内容です

【対象者】 希望者はどなたでも—フェローシップの受講資格が無くても—受講できます。ただし、フェローシップ新規受講者は必須受講とします。また、過去の受講者で、以下の内容の基礎固めをしておきたい方も受講可能です。

【目的】 Day1～Day4 のクラスに向けた準備です。今期目標の〈学習力強化〉が効果的にできる前提として必要な、英語の知識、K/H システム学習ツールなどの地固めをします。

【内容】 Day1 以降に学ぶ「上質な英語のスピーチとそのコミュニケーションスタイル」には、多くの場合、〈抽象と具体の行き来〉が入ります。その際、例えば「冠詞」、「単複」や「時制」、「仮定法」、接続詞の「And so」といった要素が重要な役割を果たします。こうした要素は、知っているようでいて、実は英語上級者でも意識が落ちたり、ニュアンスの理解があいまいだったりすることが多く、そのためにメッセージ全体の理解があいまいになってしまいます。また、「主語の選択」、「同じ単語をつかったリンク付け」など、改めて指摘されないとそのテクニックや重要な役割に気づかないものもあります。このように、今回のコースの学習内容を理解し、味わい、納得して使えるようになるうえでキーになる要素がいくつもあります。こうした基本要素の深い理解なしには、上質な英語を使った学習や体得はほぼ不可能と考え、Day0 は以下2つの分野にフォーカスしてクラスを行います。

A: 高度な英語を扱う上で大前提となる基礎的知識や理解の確認

英語ではきちんと区別し、それによって説得力を作りだしている「アイデアとその具現であるもの」「バーチャル世界と現実」等、英語的なものとのとらえ方に直結する項目をレビューします。

レビュー項目例:

- ・ロジックの中間項の概念
- ・数の概念（集合関係をつかさどる a と the、アイデアや質を表す the と無冠詞）
- ・時制/仮定法（現在形とその他”現実世界”の時制、現実未来とバーチャル世界の感覚）
- ・定義に必須の関係代名詞/関係副詞
- ・ロジック構造全般のレビュー（Argumentation 型・Explanation 型）
- ・細かいロジックの流れをつかさどる接続用語（たとえば、but, although, so, and so, however, That is…）

B: 高度な英語を体得し、応用するのに便利な学習プロセス/ツールの紹介と実践

抽象と具体を行き来するような上質な英語の体得には、英文の深い理解に基づいた練習や、扱うアイデアの上手な整理も必須です。そのため、例文から学び、また、アウトプットを効果的に行うための学習ツールや練習のコツを紹介します。

レビュー項目例:

- ・シャドーイングや聞き取り練習の効果を上げる〈構文分析・意味順分析〉
- ・ニュアンスへの意識を強化する〈やまと言葉落とし〉
- ・音読意味取り
- ・話の骨格をとらえる視点を強化する〈ロジックメモ〉

🗣️ **参加者の声:** 「実践的で、スピード感のある構成が大変魅力的だった」「議論やプレゼンテーションの論理構造を把握できるようになった。スピーキングに慣れただけでなく、リスニング、リーディングでも役に立っている」「参加者の意識が高く、レベルが高いので大いに刺激を受けた」「自分の実力を再認識できたため、目標に向かって、あとどれくらい努力しなければならないのか考えることができた」「英語だけでなく、国際的に仕事をする上での考え方を教えてもらって大変良かった」

■ **受講資格:** K/H システム公募講座・企業研修短期講座に 4コース以上参加された方 で、TOEIC 800点以上
または、K/H システム 長期企業研修コースを修了された方

■ **定員:** 16名まで（定員に達した段階で、締め切らせていただきます）

■ **日程:** 2021年度 Day 0 12月 11日(土) * Day0 は昨年とほぼ同じ内容です

Day 1 12月 12日(日) * 継続者は DAY1から

Day 2 1月 16日(日)

Day 3 2月 6日(日)

Day 4 3月 6日(日)

全日 9:30～18:00 ※ 全日程 オンラインで実施

■ **受講料:** 受講資格を得た方のための特別受講料です。

新規申込み 68,000円（税込 74,800円）(Day 0 の特別キャッチアップセッション込み)

継続者 58,000円（税込 63,800円）(前年度までに配布済みの教材は持参ください)

※ Day0のみの参加も可能です (Day0のみ参加の場合の受講料:税込 16,500円)

■ **申込方法/問い合わせ:**

申込 WEB: www.kh-system.com ⇒ トップページ [フェローシップ・プログラム 申込]

問い合わせ: E-mail support@kh-system.com